

日本興行ニュース

毎月1回
15日発行
定価100円

発行 〒105-0004
東京都港区新橋6丁目8番2号
全国生衛会館6F
全国興行生活衛生同業組合連合会
日本興行ニュース
電話 03 (5408) 5446 (代表)
FAX 03 (5408) 5447
編集兼発行人 臼井正人

本会組合員
は会費に含ま
れています

ポストコロナと映画館復活に焦点を当て 今年初の夏開催、全4日間プログラム

Cine MacCon 2021開催

毎年、アメリカ・ラスベガスのシーザースパレスホテルで開催される映画興行者向けコンベンション「Cine MacCon」(シネマコン)2021が初めての夏開催となり、8月23日から26日まで行われた。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催直前に米国への渡航制限が発せられたことを受け、急遽中止となっていた。今年も例年通り春の開催を予定していたが、長引く渡航制限と大規模集会への制限により、日程を変更の末、ようやく8か月ぶりに開催が実現した。開催にあたり安全ガイドラインが作成され、すべての参加者はワクチン接種証明書、もしくは48時間以内の実施されたPCR検査が抗原検査の陰性証明書いずれかの提示が求められる。会場には無料のウイルス検査施設が用意された。また、参加者は飲食中を除き、公共交通手段でのマスク着用が義務付けられ、徹底した安全対策が行われた。

シネマコンでは、例年スタジオによる作中プレゼンテーションや、話題作のフッター上映、新試写室やアフターパーティー、業界の最新情報やトレンド、話題のトピックスを共有する各種セミナー、トレードショー展示が行われ、その中でも特に目玉となるスタジオの作中プレゼンテーションや最終日の授賞式には、毎年多くの監督、俳優、製作陣を招いている。一昨年のシネ

マコン2019ではアン・リー監督、ビル・コンドン監督、アイノブ・シラルツ、マイク・デニス、クエイド・ジム・キリー、ドウェイン・ジョンソン、ライアン・レイノルズ、ジューズ・マクウォーン、ヘレン・ミレン、ハル・ベリー、ジェニファー・ロペス、シャイリー・セロン、ダニエル・キートンら多数の監督、キャストが登壇。さらに「ジェニファー・ハドソン」や「アリー・クワイ」などが出演映画の楽曲が歌い上げられ、華やかなパーティーが行われた。

一方、今年も最終日に授賞式が行われ、スタジオ作中プレゼンテーションでも監督・キャストらの登壇はなく、新作のフッター上映が行うに留まった。プレゼンテーションには、ソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント、MGUAR、ユニオン・メディア、リリー・シンガー、ワイナー・ブラザーズ・ピクチャーズ、NBCユニバーサル、ピクチャーズ・フォーカス、ワイチャーズ、パラマウント・ピクチャーズ、ライオン・スタジオ、開催者の9社が参加。ウォルト・ディズニー・スタジオは「ジョン・レノーン・リングスの伝説」の試写会での参加となった。また、毎年初日にインターナショナルデーと銘打ち、海外市場のイカサマセミナーが複数行われ、海外からの参加者、賑わいを見せていたが、今年も渡航制限もあり、

インタナショナルデーは行わなかった。

多くのセミナーでポストコロナ時代をいかに生き抜くかをテーマにしたセッションもあり、映画館の復活、映画鑑賞体験の重要性について語られた。基調講演でNATO(全米映画館協会)のジョン・フィッシャー会長は「コロナ禍での活動を振り返り、「競争する興行界のメンバーが協力し合えば、莫の根拠のない活動、映画館再開のための安全ガイドライン作成、税務上の確保、一時解雇された従業員の支援、助成金の申請に携わってきた。全米監督協会とMPAもこの危機の間、素晴らしいパートナーだった。私たちの業界を支援するため、100人以上の監督が支援申請の書簡に署名し、議案提出してくれた。MPAの皆さんは、私たちが安全に映画館を再開する手助けをしてくれ、観客を呼び戻すために新しい映画を提供してくれた。業界のクリエイティブコミュニティの皆さんは、ある一つのことを明確にするため、さまざまな方法でサポートを示してくれた。それは、彼らの最高の作品、映画館の大スクリーン向けに作られているという点と、映画館再開に向け尽力した全ての人へ感謝を述べた。また、コロナ禍で短縮傾向にあったウィンドウ期間について、映画館での独占公開は、映画鑑賞体験の存在と成功に不可欠な要素である。ウィンドウ期間は以前のようにはならない

が、パンデミックの時のようにならない」と明言。MPAA(全米映画協会)のチャールズ・リブキン会長も「一致団結によってパンデミックの困難を克服しつつある。映画業界は決してあきらめない」と語り、最近の公開作品の好調な興行成績を発表し「観客はもう家待つのではなく、今こそ映画鑑賞体験を楽しみたい」と思っていると映画館復活に向け「明るく」話した。

コロナ後を展望する
全4日間プログラム

【8月23日(月曜日)】
■15時00分「ポストコロナ後の映画市場」
■16時00分「ポストコロナ時代の映画市場」
■17時00分「ポストコロナ時代の映画市場」

ネボリスCEO、マーク・グリン氏(パラマウント・ピクチャーズ海外劇場総部門代表)
■15時00分「ポストコロナ後の映画市場」
■16時00分「ポストコロナ時代の映画市場」
■17時00分「ポストコロナ時代の映画市場」

ポストコロナ時代の映画市場

【8月24日(火曜日)】
■15時00分「ポストコロナ時代の映画市場」
■16時00分「ポストコロナ時代の映画市場」
■17時00分「ポストコロナ時代の映画市場」

ポストコロナ時代の映画市場

映画館再開と俳優の活躍

【8月25日(水曜日)】
■15時00分「映画館再開と俳優の活躍」
■16時00分「映画館再開と俳優の活躍」
■17時00分「映画館再開と俳優の活躍」

映画館再開と俳優の活躍

ジョーダン・ピール(共同脚本・制作)が現代に語り継ぐ忌まわしき都市伝説

その名を5回唱えろと、死ぬ。

キャンディマン

10月15日(金)

【令和2年度優秀映画鑑賞推進事業 アンケート集計結果】

◆アンケート実施状況

提出会場数	73会場	(全73会場、回収率100%)
総配布件数	12,068件	(総入場者15,783人、配布率76.5%)
総回答件数	4,533件	(回収率37.6%)

◆アンケート項目別集計

A. 性別 有効回答数4,472人(総回答件数の98.9%)

1. 男性2,006人(44.9%)	2. 女性2,241人(50.1%)	3. 無回答225人(5.0%)
--------------------	--------------------	------------------

B. 年齢 有効回答件数4,406人(総回答件数の95.6%)

1. 20代未満	24人(0.5%)	2. 20代	41人(0.9%)
3. 30代	44人(1.0%)	4. 40代	126人(2.9%)
5. 50代	346人(7.9%)	6. 60代	1,002人(22.7%)
7. 70代	7,706人(61.4%)	8. 無回答	117人(2.7%)

C. 住所 有効回答件数4,134人(総回答件数の91.2%)

1. 会場のある地域	2,124人(51.4%)	2. 近隣の地域	1,544人(37.3%)
3. その他	466人(11.3%)		

D. 同伴者(子どもと答えず回答数)

子ども	27人
-----	-----

E. 情報入手方法(複数回答可) 有効回答件数4,566人

1. 市町村や実施会場の広報誌	1,837人(39.3%)	2. ポスター、チラシ	1,591人(34.8%)
3. 知り合いから	493人(10.8%)	4. その他	481人(10.5%)
5. 無回答	164人(3.6%)		

F. 1年間の映画鑑賞回数

■映画館・ホール 有効回答件数5,257人(総回答件数の98.3%)

1. 0本	655人(12.5%)	2. 1~2本	1,198人(22.8%)
3. 3~5本	1,084人(20.6%)	4. 6~10本	536人(10.2%)
5. それ以上	630人(12.0%)	6. 無回答	1,154人(22.0%)

■ビデオ・DVD 有効回答件数4,398人(総回答件数の97.0%)

1. 0本	954人(21.7%)	2. 1~2本	608人(13.8%)
3. 3~5本	596人(13.6%)	4. 6~10本	405人(9.2%)
5. それ以上	681人(15.5%)	6. 無回答	1,154人(29.1%)

■テレビ(衛星放送やケーブルTVなどを含む) 有効回答件数4,412人(総回答件数の97.3%)

1. 0本	528人(12.0%)	2. 1~2本	531人(12.0%)
3. 3~5本	830人(18.7%)	4. 6~10本	695人(15.8%)
5. それ以上	958人(21.7%)	6. 無回答	870人(19.7%)

■インターネット(動画配信などを含む) 有効回答件数3,254人(総回答件数の71.8%)

1. 0本	1,464人(45.0%)	2. 1~2本	174人(5.3%)
3. 3~5本	118人(3.6%)	4. 6~10本	74人(2.3%)
5. それ以上	145人(4.5%)	6. 無回答	1,279人(39.3%)

G. 感想 有効回答件数4,510人(総回答件数の99.5%)

1. 全体として良かった	3,303人(73.2%)	2. 全体として良くなかった	95人 (2.1%)
3. どちらともいえない	235人(5.2%)	4. 無回答	877人(19.4%)

106会場で25プログラムを実施 令和3年度優秀映画鑑賞推進事業

国立映画アーカイブが広く国民に優れた日本映画の鑑賞を推進し、映画保存への理解を深めてもらうことを目的とし、平成25年度から実施している「優秀映画鑑賞推進事業」の令和3年度実施概要が発表されている。

本事業は、昭和11年から平成23年にかけて製作された日本映画の中から、映画史を代表する作品多の国民から好評を得た作品を、国立映画アーカイブ所蔵の35ミリフィルムにて全国各地で上映している。現在は稀少フィルム上映によるスクリーンでの鑑賞体験を通じ、映画芸術の原点となる映画と映画文化の素晴らしさを理解してもらい、本事業が地域における上映活動や文化活動を活性化させる一助となることを期待している。なお、文化庁、映画連全興連が特別協力をを行っている。

本年度は、北は北海道から南は沖縄まで106会場で実施予定。新規実施会場は、岩手県釜石市民ホール、IETIT O(1月22日・23日)、福島県白河文化センター(7月21日・25日)、千葉県浦安市文化会館(1月29日・30日)、福井県、パレオ若狭喜多摩ホール、パレオ(1月19日・22日)、長野県下條村文化芸術交流センター(8月1日)、大阪府大東市立文化ホール(サートイホール)(8月19日・20日)、愛媛県、西条芸術文化会館(9月12日)、高知県高知県民文化ホール(11月29日・30日)、宮崎県、美郷町西郷ニューホープセンター(12月12日の9会場)。

【主権者・感想】
実施会場では観覧実施団体担当者などから意見、感想などを自由意志で集めている。主権ものは次のとおり(カッコ内は、主催団体名/実施回)。

数ト映プログラムを延べ入場者数(前回は本年度実施予定)。

▽岩手県・久慈市文化会館(久慈市教育委員会/10回/D/116人前年比92人増)。

来場者、映画館がなくなった寂しい。しばらくぶりの映画鑑賞が喜ばれた。

主権者、当市には常設の映画館がなく、映画を鑑賞するためには、他地域へ足を運ばなければなりません。また、新型コロナウイルスの影響もあり、より行き難い状況となっております。当館は従来より、外へ行くことができない方々が本格的な会場での映画を観られる機会を創出し、実現したいと考えています。事業の周知方法としては、市広報、会報、会館HP及びSNSを使用しました。自宅でも気軽に映画鑑賞できる時世ですが、古くは名作映画をスクリーンで観る長を来場者は羨ましいと感じて思っています。

▽群馬県・高崎電気館(NP O法人たかきこミニメディアシネマ/4回/W/297人(前年比282人増)。

来場者、昔の作品にふれあう機会を作っていたかぎり、とびきりです。もう少し、1~2週間上映していただくと行きやすくなります。この企画を永く続けてください。

主権者、当館は事前予約制の上映ではありませんが、家族に反対されて観に行き事ができない」という年配の方からのお話もありました。今年も年に1回は、もっと上映を推進して欲しい、との声が多かったです。半年に1回開催できると嬉しいです。今回、甘藷町と同プログラムになってしまいい、違う方が良しとアンケートや口頭での指摘がありました。県内ではプログラムが重ならないよう手配したけれど非常に助かります。

▽神奈川県・鎌倉市川喜多映画記念館/8回/F/261人

▽大阪府・シネ・ヌーヴォ(日本映画大回展上映実行委員会/6回/T/574人前年比70人増)。

来場者、ひとつの地域で4本は少ない。12本くらい組んで欲しい。「綺麗35ミリのプリントで映画を観るのは嬉しう。名作もいいが、当時話題にならなかったプログラム(プチヤ)をもっと観たい。」

「鑑賞の手引」で会場、観覧のホールだった。ならば、新潟県の上映はもっと増やせるように思っ、映画館の無い市町村を軸に、会場を増やしてもらえたらいい。最近、写機に近距離で観た。カラカラとフィルムが回る音、近聴、え、デジタル上映では決して味わうことができない空間に包まれ、これで映画館という思いがした。

▽石川県・余沢21世紀美術館シアター21(公財余沢美術館創設財団/7回/M/181人前年比102人増)。

来場者、リアフリー音響アートを初めて体験しました(きこっかは宝物)。音響アートの「なんなん風?」テスト時間があると安心出来る感じがしました。私の知らなかった

感覚言葉や音絵として浮かんできましてを知り、共に映画を楽しめる事が当たり前になる事を願います。美術館でのリアフリー上映が日常となりますように!!

「重宝の太陽DVDで何度も見ましたが、やはり画面の迫力は良いですね。幼い頃、親が観ていたのを懐かしく覚えており、大絶賛していたので、今回の上映を観てみたいと思いました。何十年前の映画ですが、迫りがあり、とても素晴らしいと思えました。」

▽大阪府・シネ・ヌーヴォ(日本映画大回展上映実行委員会/6回/T/574人前年比70人増)。

来場者、ひとつの地域で4本は少ない。12本くらい組んで欲しい。「綺麗35ミリのプリントで映画を観るのは嬉しう。名作もいいが、当時話題にならなかったプログラム(プチヤ)をもっと観たい。」

「鑑賞の手引」で会場、観覧のホールだった。ならば、新潟県の上映はもっと増やせるように思っ、映画館の無い市町村を軸に、会場を増やしてもらえたらいい。最近、写機に近距離で観た。カラカラとフィルムが回る音、近聴、え、デジタル上映では決して味わうことができない空間に包まれ、これで映画館という思いがした。

▽高知県・土佐清水市立市民文化会館/7回/T/27回/W/117人(前年比43人増)。

主権者、コロナ禍において上映の開催自体が危なげな状況が、様々な感染症予防対策を講じた上で開催にこぎつけることができた。こういった世の中での情勢に加え、この年ほど本上映会の集客数は右肩下がりを続けていたこともあり、担当者としては昨年度記録と集客数、リスト記録をさらに更新してしまつたのでは、という懸念もあった。ふたを開けてみると4作目併せて117名という年々に三桁を超えるお集客を記録していただけたという嬉しい結果となった。1本の作品を4日間、昼夜1回ずつ上映するスタイルから、2日間、作品を1回ずつ上映する形に変更して今年も年々、このコロナ

大綱においても全体の集客数が増えたことで、もつぱらこの形を続けていこうという自信も増えた。

▽熊倉・八千代座・出陣市教育委員会/13回/N/73人(前年比330人増)。

主権者、第1に感染拡大防止に専念して実施計画を立ち上げました。幸い会場は昔の芝居小屋であるため、十分な鑑賞スペースがあるので、視聴者の密は避けられる状況でした。手指の消毒、熱測定マスクの着用については、観客の皆さんも意識が高く、もれなく実施していただきました。集客が見込まれずプログラムでしたが、やはりコロナの影響が、客数伸びませんでした。せめてもの話題作りには、後日開催を予定している落語演のグッズをプレゼントする企画も行いましたが、功を奏するとはありませんでした。もう一つ観客が減少した理由として考えられるのは、観客の高齢化です。10年前には同じ時代劇のプログラムで多くの観客来ていたけれども、当時の方々はより高齢化しておられるので、映画鑑賞自体が厳しい状況かと推察します。今後の開催のあり方についても考えさせられます。

▽松坂劇場(併クラシク/7回/J/435人(前年比94人増)。

主権者、コロナ禍で映画館の来場者数が減少している中、貴重フィルムでの上映会を楽しみに垂聴されるお客様で賑わっていたのが印象的だった。継続して上映して欲しいとお声が大半だったので、旧作映画の上映を来年の年明けあたりに検討している。今回多くのリクエスト作品をいただいたので、ぜひ参考にしたい。」



全米週末ランキン

(7月16日~9月12日)

コムスコア調べ

7月16日~18日

「スペース・プレイヤーズ」WB配給が初登場1位。NBAの人気バスケットボール選手レブロン・ジェームズが...

7月23日~25日

M・ナイト・シヤマン監督「オールド」(東宝)が初登場1位。ピーチで...

「ジャングル・クルーズ」(ディズニー)配給が初登場1位を獲得。人気ストラクションを題材に...

「ジャングル・クルーズ」(ディズニー)配給が初登場1位を獲得。人気ストラクションを題材に...

8月6日~8日

DCコミックスの悪役たちが大暴れする「ザ・スクワッド」...

8月13日~15日

「フリー・ガイ」が週連続1位。新作では「ピートマン」...

8月20日~22日

「フリー・ガイ」が週連続1位。新作では「ピートマン」...

8月27日~29日

「ジョーダン・ピル」製作。脚本によるホラー映画「ギャン...

9月3日~5日

「ジョーダン・ピル」製作。脚本によるホラー映画「ギャン...

9月10日~12日

「ジョーダン・ピル」製作。脚本によるホラー映画「ギャン...

【全米週末ランキン(7月16日~7月18日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(7月23日~7月25日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(8月6日~8月8日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(8月20日~8月22日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(9月3日~9月5日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(7月30日~8月1日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(8月13日~8月15日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(8月27日~8月29日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

【全米週末ランキン(9月10日~9月12日)】

Table with 7 columns: Rank, Title, Distributor, Weekend \$, % Change, Weeks, Theaters, Average, Total \$.

Large advertisement for 'My Hero Academia: World Heroes' Mission' featuring anime characters and promotional text.